

どんぐり拾いイベント報告

日時 10月17日(日) 13時30分～16時30分

場所 二俣瀬ふれあいセンター 昭和山 ビオトープ二俣瀬

1 準備 (仰木 西原 春木 松井 名越 水津)

10時～11時

二俣瀬市民センター2階の会場で、会場準備。机、椅子、パネル設置、展示物(どんぐり)、プロジェクター、スクリーン設置。

11時～12時

二俣瀬ふれあいセンター⇒昭和山山頂⇒ビオトープ⇒二俣瀬ふれあいセンターのコースの下見をし、異常がないことを確認した。

2 イベント参加者 約70名

・19家族 50名(小学生17名 幼児9名 中学生2名 保護者22名)

・スタッフ 20名(UNCCA(仰木、西原、兼久、松井、名越、春木、永山)環境政策課(藤永、水津)
二俣瀬ビオトープ(今井、原田、北村、藤村、他数名)

3 イベント内容

13時00分

受付開始 参加者名簿確認 資料配布

13時30分

はじめの挨拶(西原)後、仰木局長、環境政策課藤永課長挨拶、ビオトープ今井会長、ビオトープ、UNCCA、環境政策課のスタッフの自己紹介をした。

その後、カーボン・オフセット、どんぐりの説明、採集にあたっての注意事項を説明した。(西原)

14時～15時30分

3班に分かれて、順次昭和山に向けて出発した。

15時30分

各班順次二俣瀬ふれあいセンターへ帰る。その後、どんぐり工作、エコバックの絵柄付け、エコトランクなどの体験学習を行った。

16時15分

どんぐりの育て方を説明し、イベントを終了した。

16時30分

解散後に会場撤収

4 まとめ

どんぐりの数は例年に比べてかなり少なかったが、天気がよく、道の状態も良好で、参加者はどんぐり拾いを楽しんでいた。森を歩きながら、子どもたちがビオトープの方々の説明に興味深そうに聞いていたのが印象的だった。

どんぐり工作、エコバックプリント、エコトランク等の体験学習は、親子で熱心に取り組んでいた。けが人もなく、最後まで安全に全日程を終了できたのは、「里山ビオトープ二俣瀬をつくる会」のご協力によるところが大きかった。

○どんぐり拾いイベントの様子



のぼり



どんぐり見本



アイロン台、エコトランク



受付



仰木局長挨拶



どんぐりの説明



二俣瀬ふれあいセンターを出発



登山途中のシイの木



下山途中でどんぐり拾い



ビオトープ付近



どんぐり細工



どんぐり細工



エコバッグにアイロンプリント



工作風景



エコトランク